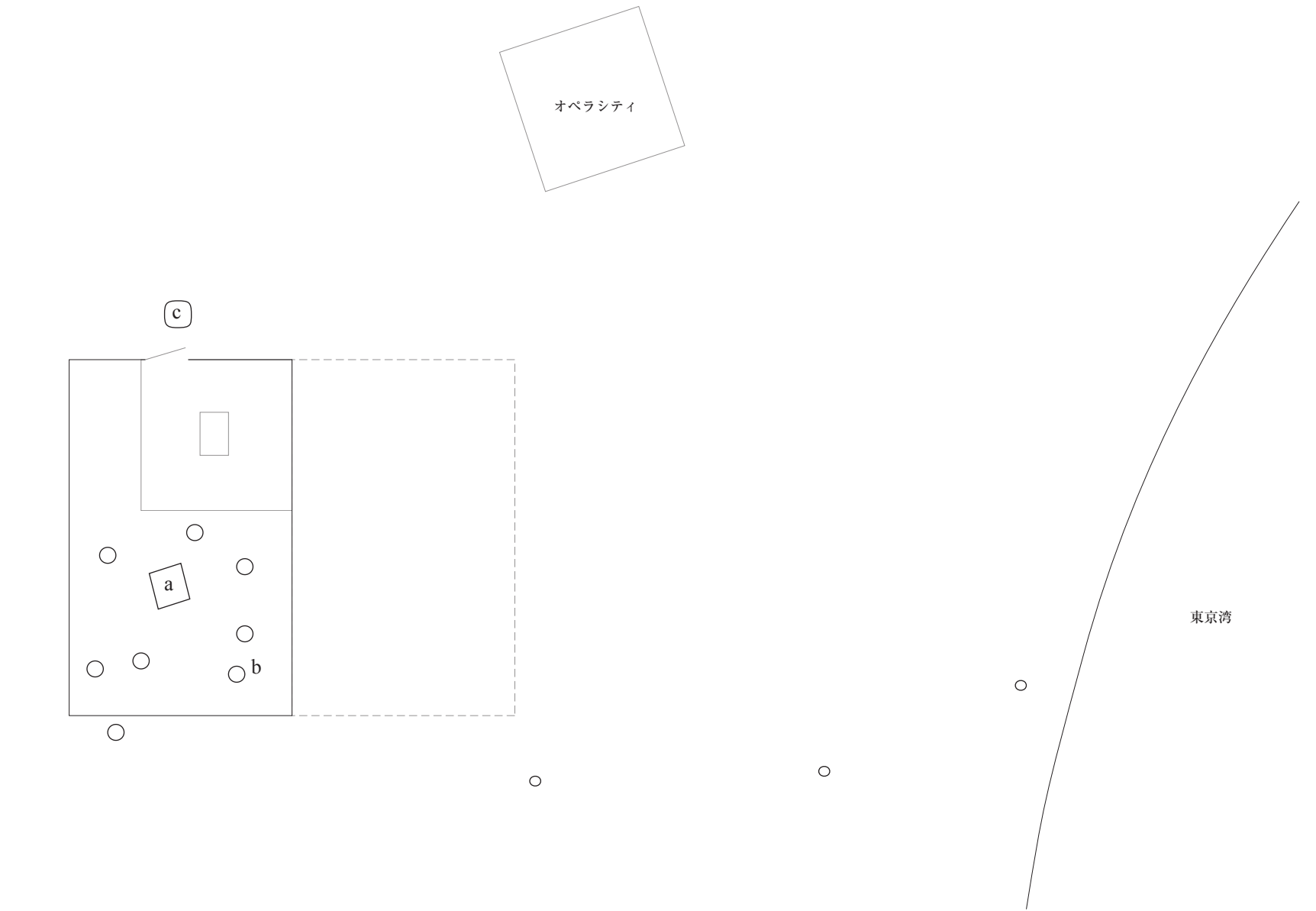




a. 小ペラシティ

シリコン, コンクリート, スタイロフォーム, 2022

b. earths (練り消し)

コンクリート等の瓦礫 (ガラ), モルタル, 2022

c. a bite of the ocean

海水, 2022

この場所〈アートサロン えん川〉は今年の4月にオープンし、これまでシェアアトリエとして、くつろいだり話し合ったりする場として使われてきた。またフリマが行われたこともあった。そして今回は、展示に使われる。

築50年を超えるこの建物は木造の2階建てで、上階には2世帯が住んでいる。もともとこの空間は飲食店だったため、カウンターなどの内装がそのままあり、改装工事では大量の瓦礫が出た。今年の2月から3月にかけてのことだ。今回、「earths (練り消し)」という作品では、その瓦礫を使用している。

「a bite of the ocean」という作品では、裏庭の地面の一部を掘り、地を固めたその窪みに東京湾で採取した海水を注ぐ。首都高やビル群、今でこそ近未来的な風景を臨むこの辺りは、明治になるまでは鬱蒼とした林だった。遡ると、近くの明治神宮では貝塚が出土しており、縄文時代にはついそこまで海が来ていたらしい。その頃も、ここから海が見えたのだろうか。

「小ペラシティ」という作品は、スキンカラーのシリコンゴムを使用した、等身大のかたまりである。小ペラシティの出現によってオペラシティは小ペラシティと関係する存在へと変化する。

しかし、現実はそのような関係性をも超越する。日々ものたちのスキニップを体験している。

2022.11.5 吉原 遼平

※会期中作者は会場の隣にあるお店（喫茶&bar）、「草原」に立っています。

地続きの老いたち

2022年11月5日(土)~11月13日(日)

会場：アートサロン えん川 (Instagram:@engawartsalon)

住所：〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-37-7

助成：アーツカウンシル スタートアップ助成

協力：草原

制作補助：小倉久典

矢野紗季

山本悠生

特別協力：赤星りき

広報物デザイン：政井歌